

ムランボ＝ヌクカ国連女性機関（UN Women）事務局長の声明
「女性と女兒に対する暴力：陰のパンデミック」
（2020年4月6日）

90か国が封鎖され、40億人がCOVID-19という世界的な伝染病から自宅で避難しています。これは保護するための措置ですが、そのことがもう一つの致命的な危機をもたらしています。女性に対する暴力という陰のパンデミックが拡大しているのです。

感染と都市封鎖を報告する国が増加するにつれ、世界中のDVに関する電話相談窓口やシェルターが、助けを求める声の高まりを報告しています。アルゼンチン、カナダ、フランス、ドイツ、スペイン、英国、米国では、政府当局、女性の権利活動家、市民社会のパートナーが、今回の危機の間にDVの報告が増加し、緊急避難所への需要が高まっていることを指摘しています。シンガポールとキプロスの電話相談窓口では、30%以上の電話件数の増加を記録しています。オーストラリアでは、ニューサウスウェールズ州の調査において、最前線では対応を行っている人の40%が、激しさを増す暴力への支援要請が増加していると報告しています。

外出制限は、治安、健康、金銭面での懸念から生じる精神的不安や緊張を助長しています。そして、暴力的なパートナーを持つ女性の孤立感を高め、彼女たちを最も助けてくれる人々や資源から彼女たちを引き離しています。この状況は、閉ざれたドアの向こうでの支配と暴力的な行動を助長する、最悪の状況です。同時に、医療システムが限界点に、そしてDVシェルターも定員に達しつつある中で、センターが通常の目的に加え、COVID-19の追加的な応急対応をしなければならないことで、サービスの不足が更に悪化しています。

COVID-19が存在する前から、DVは既に最大の人権侵害の一つでした。過去12か月間に、世界中で2億4,300万人の女性と女兒（15～49歳）が、親密なパートナーから性的、又は身体的な暴力を受けています。COVID-19パンデミックが続く中、この数字は、女性の健康・福祉、性と生殖に関する健康、精神衛生、そして、彼女たちが私たちの社会と経済の復興・回復に参画して主導していく能力に対し、複合的な影響を与えながら増加していく傾向にあります。

以前より、DVやその他の形態の暴力の報告が過少であることが、対応やデータ収集を困難にしており、暴力を経験した女性のうち、何らかの助けを求めたり犯罪を報告したりした女性は40%未満でした。助けを求める女性のうち、警察に行く女性は10%未満です。現在の状況は、女性や女兒の電話や相談窓口へのアクセスの制限や、警察、司法、社会サービス等の公共サービスの途絶等を含んでいることから、報告を更に困難にしています。また、このような途絶は、例えば強姦被害者の診察状況の管理、精神衛生や精神・社会的支援など、性的暴力からの生存者が必要とするケアや支援にも支障をきたしている可能性があります。同様に、これらの途絶は、加害者の免責を助長することにもなります。多くの国では、法律は女性の味方ではなく、4か国に1か国は、DVから女性を特別に保護する法律がありません。

もし対処しなければ、この陰のパンデミックもまた、COVID-19の経済的影響を増大させることとなります。女性に対する暴力の世界全体での損失は、かつては約1.5兆ドル（約160兆円）と見積もられていました。この数字は、暴力が現在のように増加するにつれて上昇するばかりであり、パンデミックの余波においてもそれが継続するでしょう。

女性に対する暴力の増加は、この困難の重要性及び規模に見合った、そして様々な形態の差別に直面している女性のニーズを反映した経済的支援と景気刺激策に組み込まれた対応をもって、喫緊に対処されなければなりません。国連事務総長は、全ての政府に対し、女性に対する暴力の予防と救済を、COVID-19に対する各国の応急対応のための計画の重要項目とするよう呼びかけています。女性のためのシェルターや相談窓口は、全ての国にとって必要不可欠なサービスであるとみなされ、具体的な資金調達と利用に関する情報の周知・啓発のための広範な対応をしなければなりません。

草の根及び女性の組織やコミュニティは、過去の危機（注：エボラ出血熱等）において、予防及び応急対応のための重要な役割を果たしており、現在の最前線での役割を果たすため、長期的な資金提供を含め、強力に支援する必要があります。電話相談窓口、心理的・社会的支援、オンラインカウンセリングを強化し、SMS（ショートメッセージサービス）、オンライン上のツール、ネットワークなどのテクノロジーに基づく解決手段を活用して、社会的支援を拡大するとともに、電話やインターネットにアクセスできない女性にも手を差し伸べるべきです。加害者が免責されることのないよう、女性と女兒に対する暴力事件の優先度を確実に高いものとするため、警察と司法サービスが動員されなければなりません。民間セクターにもまた、情報を共有し、職員にDVの事実と危険性について注意を喚起し、家庭でのケアの責任を分担するなどの積極的な対応を奨励するなど、重要な役割があります。

COVID-19は、私たちのほとんどが未だかつて経験したことのない方法によって私たちを試し、感情的及び経済的なショックを与えており、私たちはそれらを乗り越えようと奮闘しています。このパンデミックの邪悪な特徴の一つとして、今、出現している暴力は、私たちの価値観や私たちの回復力及び共通する人間性に対する、鏡であり挑戦なのです。私たちは、コロナウイルスから生き延びるだけでなく、女性を強力的な力として復興の中心に据え、新たに立ち上がらなければなりません。